

# ミライアル株式会社

## 2015年1月期 決算説明資料

2015年3月9日

2015年1月期 決算概要 .....	p. 1
2016年1月期 業績予想 .....	p. 7
経営戦略 .....	p. 9





# 2015年1月期 決算概要

## ～ 1. 売上高/経常利益の比較

### ■ 決算概要

**売上高: 9,399百万円 (前年同期比 12.5%増)**

プラスチック成形事業(当社グループ主力事業)の主要販売先である半導体業界は、スマートフォンやタブレットを中心としたモバイル分野の需要が伸長し、シリコンウエハの出荷が増加しました。

当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」も、上期において、ウエハの好況を反映し、出荷が増加しました。

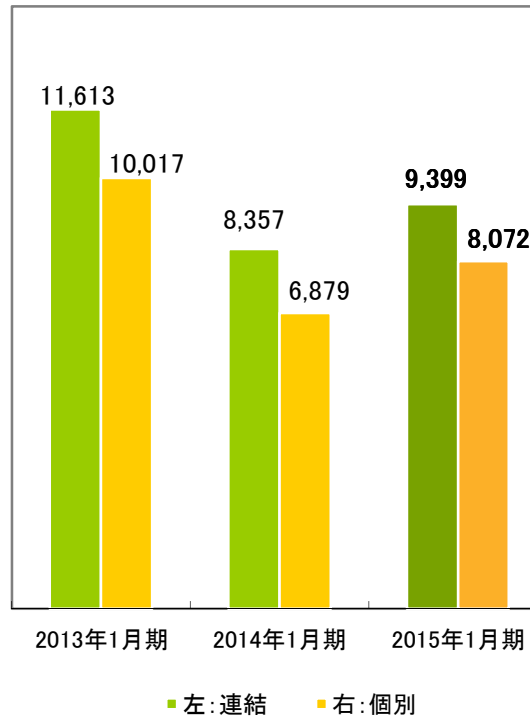
また、下期においても、リユース品の増加は見られたものの、当初予想した生産調整は起きず、ウエハの活況を反映する形で出荷数量が増加しました。

**経常利益: 1,259百万円 (前年同期比 71.6%増)**

主力製品「FOSB」の想定を上回る出荷数量の増加に加え、コスト削減、減価償却の進行等があったこと、また営業外収益として保険解約返戻金収入やメガソーラーによる売電収入、子会社に関する補助金収入等の影響もあり、経常利益は前年同期比で増益となりました。

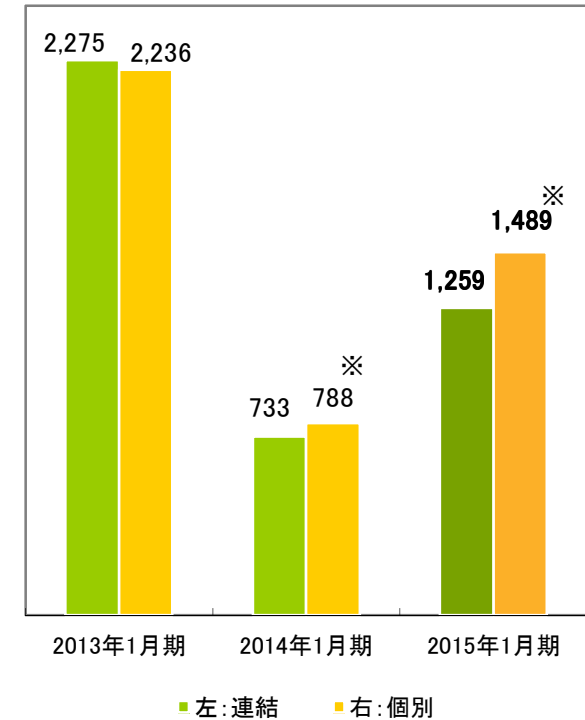
### 売上高

(単位: 百万円)



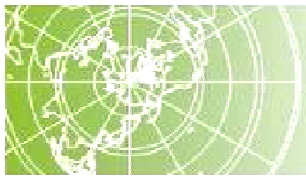
### 経常利益

(単位: 百万円)



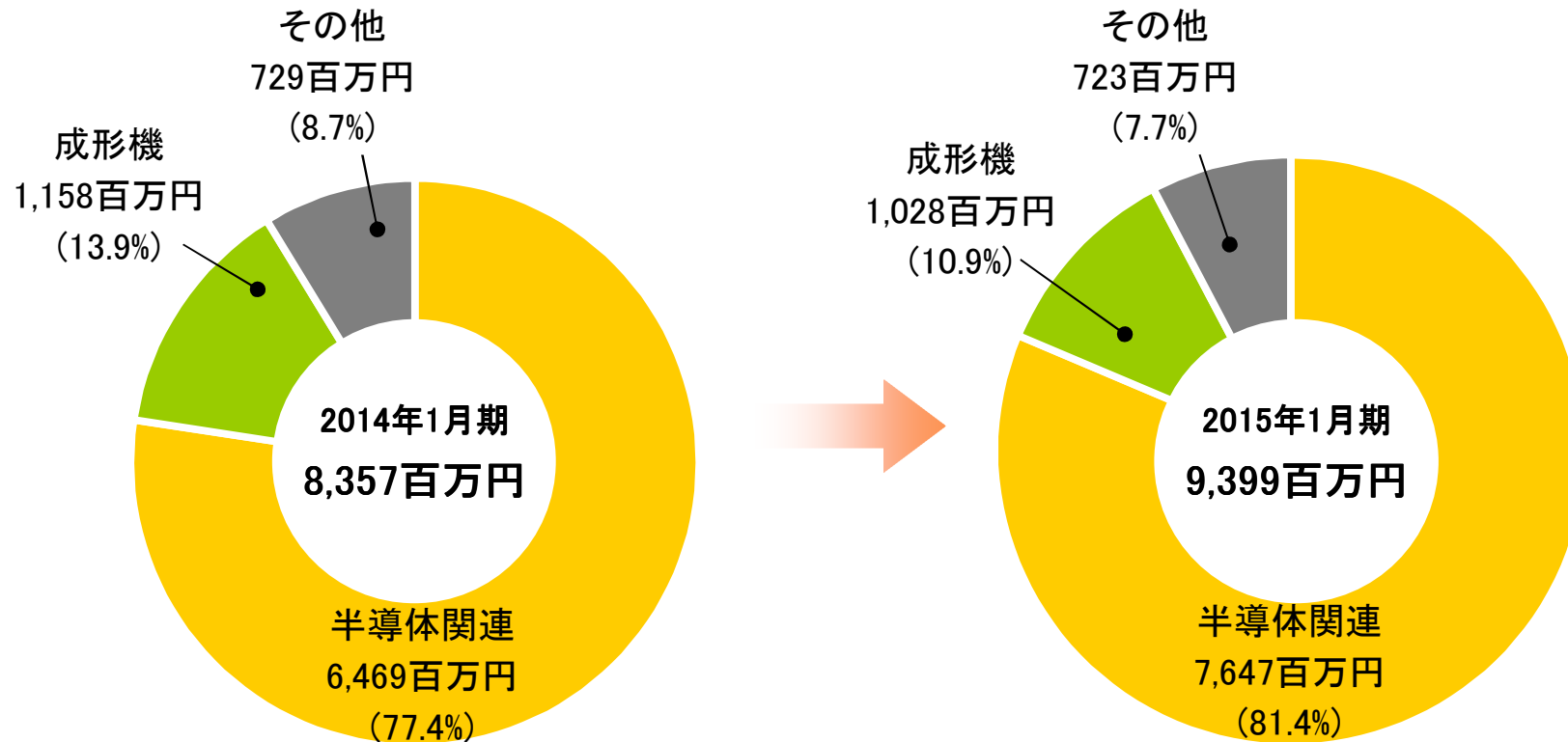
※ 個別の経常利益は、子会社からの配当を含んでおります。

影響額は2014年1月期において216百万円、2015年1月期において295百万円ではありますが、連結上は相殺消去しております。



# 2015年1月期 決算概要 ～ 2. 事業別売上高の比較

事業別売上高(連結) 対前年同期比





# 2015年1月期 決算概要

## ～ 3. 業績の概要

### 連結業績

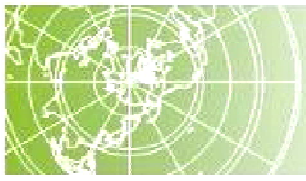
(単位:百万円)

	2014年1月期		2015年1月期	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	8,357	△28.0	9,399	12.5
売上総利益	2,231	△47.6	2,709	21.4
営業利益	573	△74.0	1,063	85.5
(営業利益率:%)	(6.9)		(11.3)	
経常利益	733	△67.8	1,259	71.6
税引前当期純利益	716	△67.4	1,130	57.9
当期純利益	442	△69.0	769	73.6
設備投資	757		333	
減価償却	662		611	
純資産	15,123		15,446	
総資産	17,613		18,864	
自己資本比率: %	85.9		81.9	
1株当たり純資産額	1,682円 57銭		1,718円 46銭	

### 個別業績

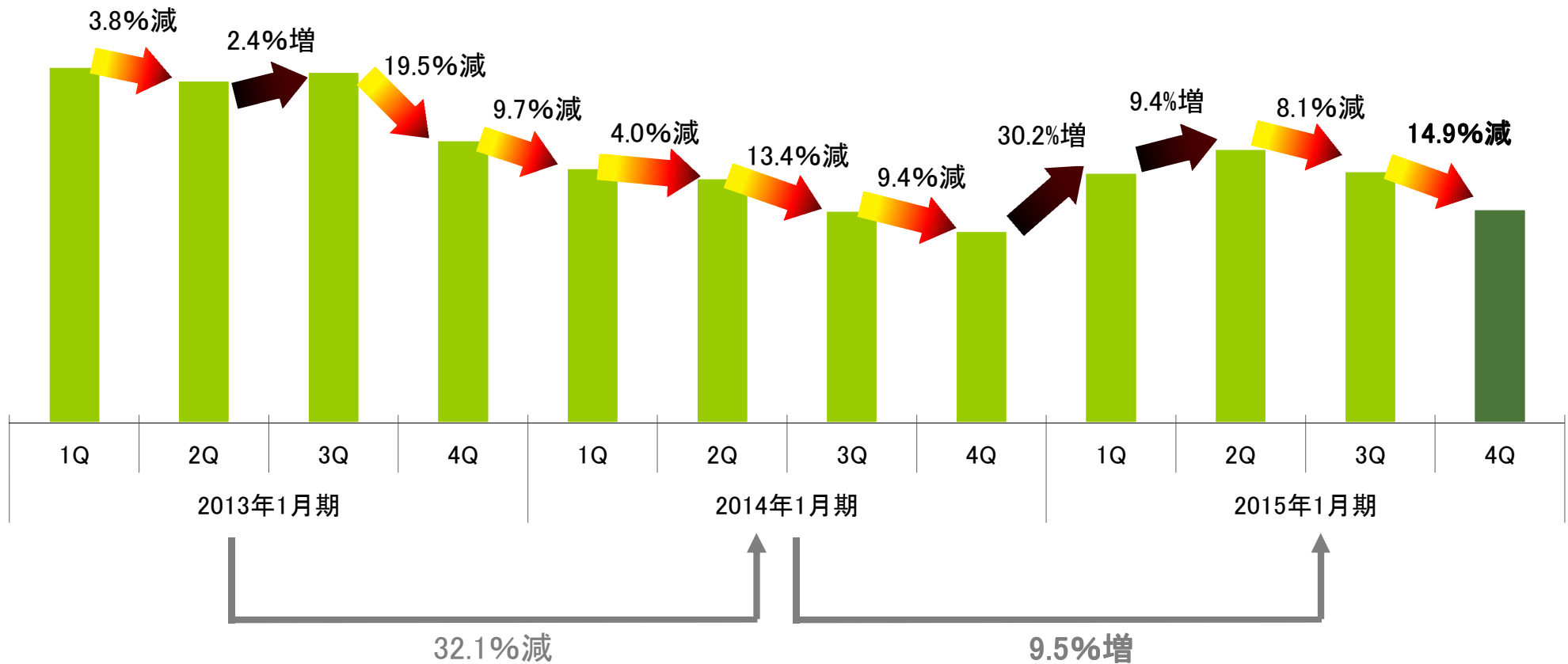
(単位:百万円)

	2014年1月期		2015年1月期	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	6,879	△31.3	8,072	17.3
売上総利益	1,777	△52.9	2,368	33.3
営業利益	471	△78.3	1,006	113.5
(営業利益率:%)	(6.9)		(12.5)	
経常利益	788	△64.7	1,489	88.9
税引前当期純利益	775	△65.4	1,307	68.5
当期純利益	521	△60.2	900	72.9
設備投資	608		350	
減価償却	617		571	
純資産	14,783		15,377	
総資産	16,720		18,058	
自己資本比率: %	88.4		85.2	
1株当たり純資産額	1,644円 75銭		1,710円 83銭	



# 2015年1月期 決算概要 ～ 4. 半導体関連製品事業の業績

## シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移



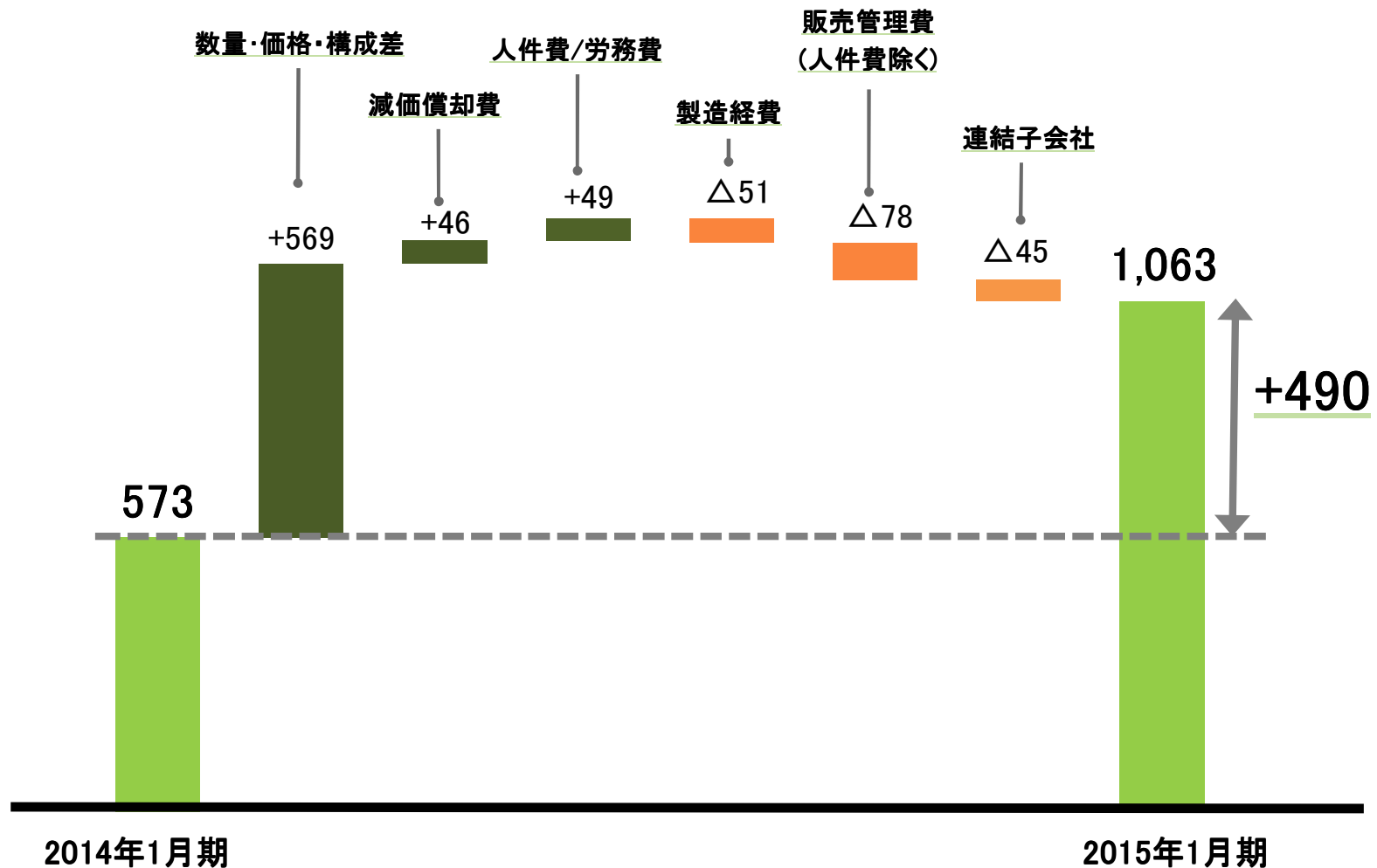


# 2015年1月期 決算概要

## ～ 5. 営業利益増減要因分析(連結)

営業利益(連結) 対前年同期比

(単位:百万円)





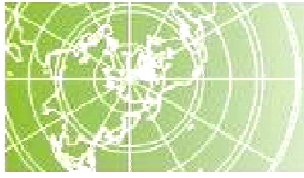
## 2015年1月期 決算概要 ～ 6.キャッシュフロー(連結)

### キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2014年1月期	2015年1月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	277	2,141
(内)減価償却前税引前利益	1,379	1,742
(内)法人税の支払額又は還付額	△681	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,182	△27
(内)固定資産の取得による支出	△874	△380
(内)3ヶ月超定期預金の増減額(△は増加)	2,000	400
(内)投資有価証券の取得による支出	△1	△459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,609	△425
(内)配当金支払	△708	△359
(内)有利子負債の増減額	△146	△65
(内)自己株式の取得による支出	△1,754	—
キャッシュ・フロー	△1,149	1,688

	2014年1月期	2015年1月期	差 額
キャッシュ・フロー残高	4,293	5,981	1,688
+3ヶ月超定期預金残高	3,600	3,200	△400
現金及び預金残高	7,893	9,181	1,288

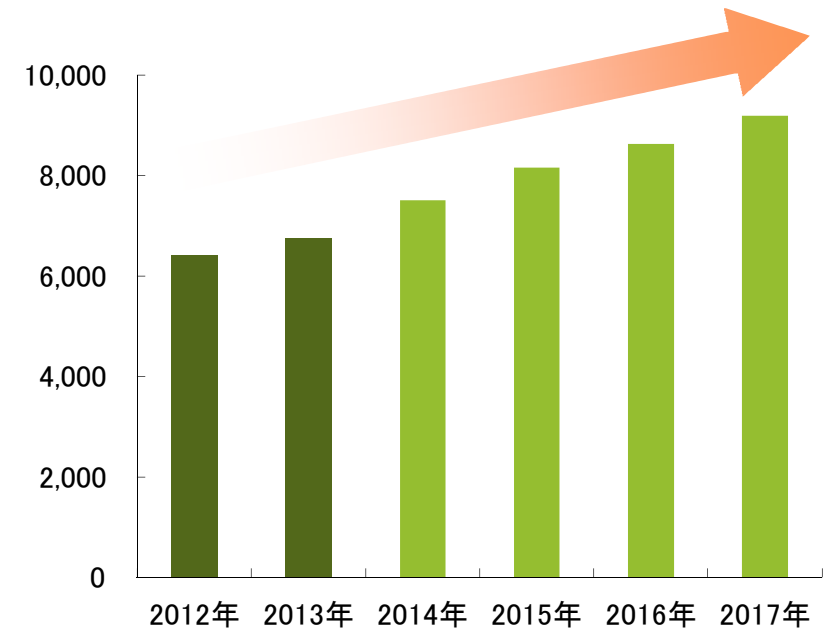


# 2016年1月期業績予想 ～1. 業績予想サマリー～

## 売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には緩やかな拡大を続けていく見通しです。
- 当社主力製品FOSBによって搬送される300mmウエハはシリコンウエハ市場の牽引役であり、今後も伸長を続けると予想されています。また、小口径ウエハからの移行や、生産用途の拡大等により、一層裾野を広げていく見通しであります。
- FOSBのリユースについては、全体の容器量に対し38%前後で推移していく見込であります。(月によって変動有り)

■300mmシリコンウエハ出荷面積予測(100万平方インチ)

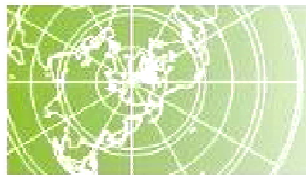


出典: 弊社推測

## 営業利益、経常利益

- 当社は品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- グループでのコラボレーションを強化し、新分野展開、更なるコストダウンを実施します。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。





# 2016年1月期業績予想 ～2. 業績予想

## 損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

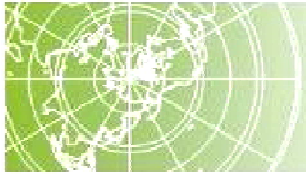
	2015年1月期 (実績)				2016年1月期 (予想)	
	第2四半期累計		通期累計		第2四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	4,799	16.8	9,399	12.5	4,500	△6.2
営業利益	538	46.2	1,063	85.5	410	△23.8
経常利益	687	53.5	1,259	71.6	510	△25.8
(当期)純利益	500	65.7	769	73.6	310	△38.0

## 事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2015年1月期 (実績)						2016年1月期 (予想)		
	第2四半期累計			通期累計			第2四半期累計		
	金額	構成比	前年同期 増減率	金額	構成比	前年同期 増減率	金額	構成比	前年同期 増減率
プラスチック成形事業	4,356	90.8	19.7	8,370	89.1	16.3	3,798	84.4	△12.8
半導体関連	4,010	83.6	15.5	7,647	81.4	18.2	3,381	75.1	△15.7
その他	345	7.2	107.9	723	7.7	△0.9	417	9.3	20.7
成形機事業	443	9.2	△5.9	1,028	10.9	△11.2	702	15.6	58.3
合計	4,799	100.0	16.8	9,399	100.0	12.5	4,500	100.0	△6.2

■ 現時点において、2016年1月期の1株当たり配当金については未定であります。

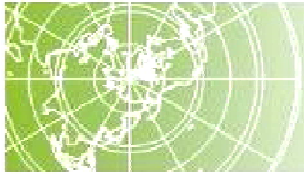


# 経営戦略 ～基本方針

<b>1.</b> <b>現存事業の競争力強化</b>  コスト削減の徹底と品質の造り込みにより、市場でのポジションを維持・向上。	【プラスチック成形事業】			【成形機事業】
	工程内容器	出荷容器	樹脂・金属加工	縦型射出成形機
	当社コア技術を応用展開し 新製品開発、販売チャネル拡大	<u>300mm</u> シェア確保  <u>450mm</u> 市場を注視し覇権獲得	グループ内での技術連携による事業拡大	■TF機を核とした縦型の特長を活かした特殊機拡販 ■機械～金型～装置のセット販売

<b>2.</b> <b>新たな収益源の構築</b>  現存事業で培った技術、獲得した資金、収集した情報等を活かし、新たな収益源となるべき新製品開発・新事業構築に取り組む。	新製品開発	新事業
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ内技術の深化</li> <li>■ グループ間連携による新分野開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内外のリソースを活用したビジネス領域の拡大           <ul style="list-style-type: none"> <li>—社内保有資源の応用展開</li> <li>—プラスチック成形事業と地続きの新分野開拓 (含 業務提携/M&amp;A)</li> </ul> </li> </ul>

**3.**  
**グループ基盤の強化**  
 ミライアルグループが保有する、物的資産、金融資産等の「見える資産」を活用し、人材、技術、お客様との信頼関係等の「見えない資産」の強化に鋭意取り組む。



# 本日はありがとうございました

## 「ミライアルの未来」

明日に向かって

## 「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

### IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経理部

TEL : 03-3986-3782 FAX : 03-3986-3853 E-Mail : investor\_relations-m@miraial.co.jp

#### <将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。